

第2学年 技術・家庭科（技術分野）学習指導案

1 題材名 安全でおいしい野菜作りに挑戦しよう。「ブロッコリーや枝豆の栽培」

2 単元指導計画

次	時	主な学習内容
1	10	育成計画に沿って、観察から、適切な育成環境の調節や、作物の管理を行う。
	11	作物の状態に応じた、害虫の駆除方法について、解決作業を選択する。
	12	作物の状況に応じて、害虫駆除や追肥などを行う。

3 本時について（11/17）

(1) ねらい

よりよい苗に育てる方法を考えるを通して、害虫を取り除くための方法や特徴を知り、自分の栽培方法に適した防虫方法を選択することができる。

(2) 評価規準

防虫方法の利点や欠点を理解し、比較検討しながら適した栽培方法を選択している。

(3) 学習展開

過程	学習活動	教師の指導・援助（留意点）											
導入	1 本時の学習内容に問題意識をもつ。 ○虫に食べられているブロッコリーの様子と野菜を収穫する場面を想起し、どんな野菜に育っているとよいか考える。 ・おいしい野菜が食べたい ・虫に食べられていない野菜がいい ・調理するときに、虫が入っているのは嫌だ	【ICT活用の工夫】 ・他者とコミュニケーションを取ることに困難さがある生徒とのやり取りを進めるために、協働学習支援ツールを用いて、写真を貼り付けてあるシートに生徒が気付いたことを書き込み、それを共有することで、教師と双方向のやり取りを行う。											
	2 学習問題を確認する。 害虫を防ぐ方法について調べ、自分の育て方に合った方法を選択しよう。												
展開	3 課題解決の見通しを立てる。 ○害虫を防ぐための方法を確認する	【ICT活用の工夫】 ・インターネットで参考にできる URL を協働学習支援ツールに表示しておく。 ・調べた結果を協働学習支援ツールに表示させ、視覚的に比較できるシートの準備をする。											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>手作業</th> <th>環境を整える</th> <th>農薬</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>虫を手作業で除去する</td> <td>防虫ネットを張る</td> <td>農薬の塗布</td> </tr> </tbody> </table>		手作業	環境を整える	農薬	虫を手作業で除去する	防虫ネットを張る	農薬の塗布					
	手作業		環境を整える	農薬									
	虫を手作業で除去する		防虫ネットを張る	農薬の塗布									
4 個人で追究する。 ○インターネットを活用して、防虫方法のメリット・デメリットについて調べる。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>メリット</th> <th>デメリット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>虫を手作業で除去する</td> <td>影響が少ない</td> <td>手間がかかる</td> </tr> <tr> <td>防虫ネットを張る</td> <td>害虫を抑制できる</td> <td>日照量が減る</td> </tr> <tr> <td>農薬の塗布</td> <td>作業量が減る</td> <td>人体への影響</td> </tr> </tbody> </table>		メリット	デメリット	虫を手作業で除去する	影響が少ない	手間がかかる	防虫ネットを張る	害虫を抑制できる	日照量が減る	農薬の塗布	作業量が減る	人体への影響
	メリット	デメリット											
虫を手作業で除去する	影響が少ない	手間がかかる											
防虫ネットを張る	害虫を抑制できる	日照量が減る											
農薬の塗布	作業量が減る	人体への影響											
5 全体で話し合い、課題を解決する。 ○食の安全・作業のしやすさの観点から、それぞれの方法を分類し、自分の栽培に合った防虫方法を選択する。 ・作業のしやすさから考えると、農薬を使いたい。食の安全から、ずっと使い続けることはしないようにしたい。													
終末	6 学習をまとめる。 作業の効率化や安全性を考えて、成長段階に合わせて、どちらの方法も取り入れながら、育成するとよい。	【ICT活用の工夫】 ・防虫方法について、食の安全・作業のしやすさを座標で表し、特徴を視覚化する。											
	7 次時の学習について確認する。 ・防虫方法について確認したことを作業として行っていくこと												